

2024年10月3日
株式会社大京
株式会社穴吹工務店

パワーカップル 500 人に聞く、住まいと暮らしの価値観調査

住まい選びでは「省エネ設計」「防災性」「断熱性」を重視する人が増加

株式会社大京（本社：東京都渋谷区、社長：深谷 敏成）および株式会社穴吹工務店（本社：香川県高松市、社長：竹本 勝）は、1都3県在住の世帯年収1,200万円以上のパワーカップルを対象に、住まいに関する調査を行いました。その結果、パワーカップルの約8割が「自分の人生は豊かな方だ」と認識しており、パワーカップル以外と比べて、人生を豊かにするために「家族と一緒に過ごす時間」を大切にしていることがわかりました。また、次の住まいを選ぶ条件として、「省エネ設計」「資産価値」「防災性」などの環境性能や将来性を重視する傾向も明らかになりました。主な調査結果は以下のとおりです。

- 人生の豊かさを実感するパワーカップル 約8割 大切にしているのは「家族と一緒に過ごす時間」**
 - ・パワーカップルの80.4%が「自分の人生は豊かな方だ」と認識。
 - ・パワーカップル以外と比較すると、パワーカップルは人生の豊かさのために「家族と一緒に過ごす時間」を大切にしたいと考えている人が約1.3倍、住まいの役割として「家族と一緒に時間を過ごすためのもの」と回答した人が約1.2倍に上る。
- パワーカップルは「品格」「上質」などクラス感を好み、知的な信頼できる人物を目指す**
 - ・パワーカップルが暮らしの中で大切にしたい言葉トップ3は「健康」「安心・安全」「自由」。パワーカップル以外との差分を見ると、「品格」「上質」などのクラス感のある言葉をより大切にしている。
 - ・パワーカップルの理想の自己イメージトップ3は「信頼」「健康的」「知的」。知的で頼りがいのある人物というイメージをより重視している。
- パワーカップルは、次の住まいに「省エネ設計」「防災性」「断熱性」を重視 未来を見据えた環境性能の高さと資産価値を重視する傾向に**
 - ・パワーカップルが今の住まいと次の住まいで重視したいことを比べると、次の住まいでは「省エネ設計」「エネルギー備蓄などの防災性」「断熱性」や「将来的な資産価値」など、環境性能の高さや将来性をより重視する傾向に。
 - ・パワーカップルは、家の広さやアクセスなど利便性に留まらず、住まいの環境性能や将来性への意識が高まっている。

以上

<報道関係者からのお問い合わせ先>
オリックス株式会社 グループ広報・渉外部 TEL：03-3435-3167

1. 「首都圏在住のパワーカップル 500 人に聞く、住まいと暮らしの価値観調査」概要

本調査では1都3県在住の世帯年収 1,200 万円以上をパワーカップルとし、マンション購入意向があり、1都3県在住の世帯年収 1,200 万円以上の 20 代～60 代の共働きの男女 500 人を対象に、パワーカップルの住まいと暮らしの価値観調査を行いました。

調査時期：2024 年 8 月 21 日（水）～8 月 22 日（木）

調査方法：インターネット調査

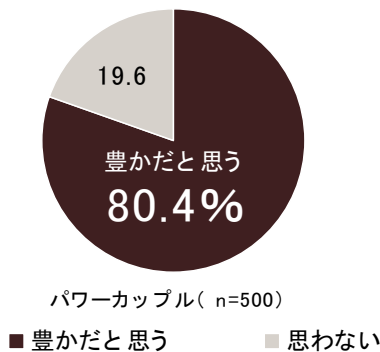
調査対象：①パワーカップル（1 都 3 県在住の世帯年収 1,200 万円以上の共働きの 20 代～60 代男女、マンション購入意向がある 500 人）
②パワーカップル以外（1 都 3 県在住の 20 代～60 代男女、マンション購入意向がある 500 人）

2. 調査結果

■人生の豊かさを実感するパワーカップル 約 8 割 大切にしているのは「家族と一緒に過ごす時間」

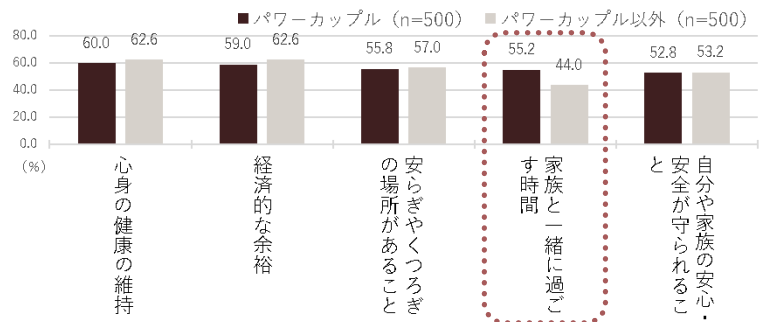
まず、今の人生は豊かだと思うかを聞くと、パワーカップルの約 8 割が「豊かだと思う」（80.4%）と答えています [図 1]。そこで、人生を豊かにするために大切にしたいものを聞くと、パワーカップルの 55.2%は「家族と一緒に過ごす時間」を挙げており、パワーカップル以外（44.0%）と比べ約 1.3 倍、11.2 ポイントも高くなっています [図 2]。

[図 1] 今の人生は豊かだと思うか (Q5)



[図 2] 人生を豊かにするために大切にしたいもののトップ 5 (Q4)

(15 項目中上位 5 項目を表示)

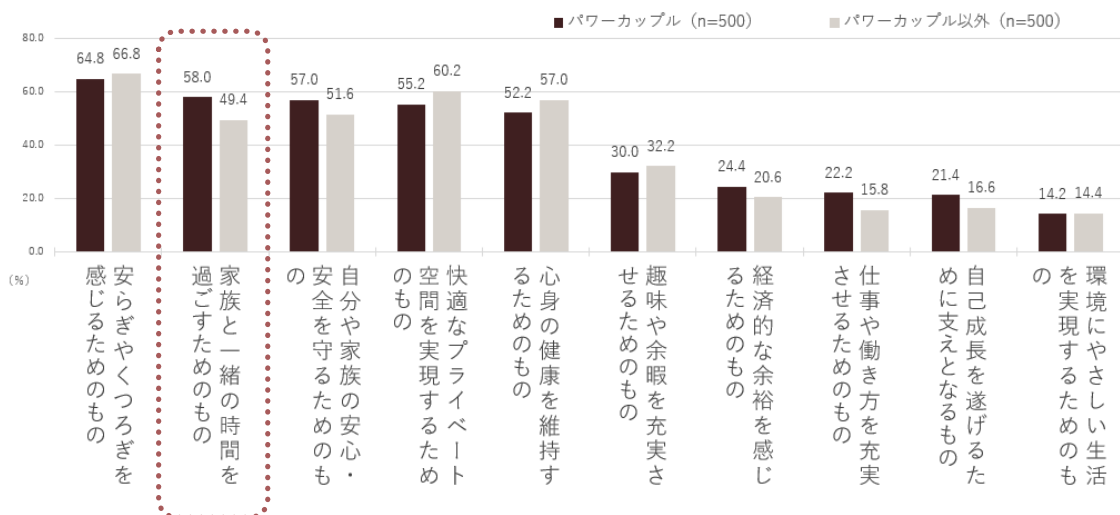


続いて、住まいの役割について聞くと、パワーカップルは「安らぎやくつろぎを感じるためのもの」（64.8%）に次いで「家族と一緒に過ごすためのもの」（58.0%）を挙げており、パワーカップル以外（49.4%）の約 1.2 倍、8.6 ポイントも高くなっています [図 3]。

豊かな人生を自覚し謳歌するパワーカップルですが、家族と一緒に過ごす時間を大切に、家族と一緒に過ごすことを住まいの重要な役割と認識しているようです。

[図 3] あなたにとっての住まいの役割トップ 10 (Q7)

(15 項目中上位 10 項目を表示)



■パワーカップルが大切にしている言葉

パワーカップル以外と比べ「品格」「上質」などクラス感を重視

暮らしの中で大切にしたい言葉を聞くと、パワーカップルは「健康」(59.6%)、「安心・安全」(52.2%)、「自由」(46.6%)の順となり、パワーカップル以外もほぼ同様の結果となりました。

両者を差分順に見ると、パワーカップルは「品格」(パワーカップル39.4%:パワーカップル以外29.2%、10.2ポイント差)、「上質」(パワーカップル36.8%:パワーカップル以外27.0%、9.8ポイント差)、「成長」(パワーカップル36.0%:パワーカップル以外27.0%、9.0ポイント差)など、クラス感のある言葉をより大切にする傾向が見られました [図4]。

[図4] 暮らしの中で大切にしたい言葉トップ10(Q2)

順位	パワーカップル (n=500)		パワーカップル以外 (n=500)		差分順	パワーカップル (n=500)	パワーカップル以外 (n=500)	差分
	言葉	(%)	言葉	(%)				
1位	健康	59.6	健康	63.6				
2位	安心・安全	52.2	安心・安全	62.0				
3位	自由	46.6	自由	50.6				
4位	安定	45.0	安定	49.6				
5位	充実	44.2	癒し	45.4				
6位	癒し	43.2	シンプル	41.8				
7位	誠実	41.6	充実	40.4				
8位	自然体	40.4	自然体	40.4				
9位	品格	39.4	自然	35.2	品格	39.4	29.2	10.2
10位	上質	36.8	誠実	35.0	上質	36.8	27.0	9.8
					成長	36.0	27.0	9.0
					合理的	27.0	19.4	7.6
					誠実	41.6	35.0	6.6
					洗練	29.8	24.0	5.8
					正義	22.6	16.8	5.8
					創造	23.4	17.6	5.8
					柔軟	33.8	28.8	5.0
					革新	13.4	8.6	4.8
		(%)		(%)			(%)	(ポイント差)

■パワーカップルの理想の自己イメージ 知的で頼りがいがある人物が理想の自分像

理想の自己イメージを聞くと、パワーカップルは「信頼できる、頼りがいがある」(47.4%)、「健康的、健やか」(45.2%)、「知的、賢い、優秀」(41.8%)が上位に、パワーカップル以外は「優しい、思いやりがある」(45.4%)、「健康的、健やか」(44.6%)、「信頼できる、頼りがいがある」(41.8%)が上位に挙げられました [図5]。

[図5] 理想の自己イメージトップ10(Q3)

順位	パワーカップル (n=500)		パワーカップル以外 (n=500)	
	言葉	(%)	言葉	(%)
1位	信頼できる、頼りがいがある	47.4	優しい、思いやりがある	45.4
2位	健康的、健やか	45.2	健康的、健やか	44.6
3位	知的、賢い、優秀	41.8	信頼できる、頼りがいがある	41.8
4位	優しい、思いやりがある	41.6	落ち着きがある、穏やか	41.2
5位	寛大な、寛容、心が広い	41.4	清潔、さわやか、清楚	40.6
6位	清潔、さわやか、清楚	39.8	寛大な、寛容、心が広い	34.0
7位	落ち着きがある、穏やか	39.2	気が利く	33.0
8位	品格がある	38.8	センスがいい、おしゃれ	32.6
9位	誠実	38.2	誠実	32.2
10位	気さく、フレンドリー、社交的	35.6	気さく、フレンドリー、社交的	32.0
		(%)		(%)

■住まいにおいて家族と一緒に時間を重視するパワーカップル これからの住まいづくりでは「省エネ設計」「防災性」「断熱性」「将来の資産価値」がより重視される傾向に

家族と一緒に時間を過ごすためのものとして住まいを重視するパワーカップルですが、住まい選びで重視することについて「物件価格」「周辺の治安」「緑や自然」など 28 項目を提示し、今の住まいで重視したものと次の住まいで重視したいものを聞きました。

今の住まいで重視したものは、「広さや間取り、部屋数」(57.2%)、「最寄り駅までの距離」(52.6%)や「最寄り駅の利便性」(50.4%)、次の住まいで重視したいのは「広さや間取り、部屋数」(57.2%)、「日当たり・向き」(52.0%)、「最寄り駅までの距離」(51.2%)がトップ3となっています [図 6]。

【図 6】パワーカップルが住まいを選ぶ際に重視することトップ 10 (Q9)

(28 項目中上位 10 項目を表示)

順位	今の住まいで重視したもの (n=500)	今の住まいで重視したものの割合 (%)	次の住まいで重視したいもの (n=500)	次の住まいで重視したいものの割合 (%)
1位	広さや間取り、部屋数	57.2	広さや間取り、部屋数	57.2
2位	最寄り駅までの距離	52.6	日当たり、向き	52.0
3位	最寄り駅の利便性(通勤・通学に便利等)	50.4	最寄り駅までの距離	51.2
4位	価格(物件の購入価格や家賃)	45.6	最寄り駅の利便性(通勤・通学に便利等)	49.2
5位	周辺地域の治安	45.2	価格(物件の購入価格や家賃)	48.0
6位	日当たり、向き	45.0	周辺地域の治安	43.2
7位	周辺施設の充実性	35.6	耐震性	43.0
8位	耐震性	33.6	周辺施設の充実性	39.4
9位	防犯性	31.6	将来的な資産価値	36.4
10位	内観や外観のデザイン	31.0	防犯性	34.4

一方、今の住まいと次の住まいで重視することの差分順に見ると、「省エネ設計」(今の住まい 12.2% : 次の住まい 24.4%、12.2 ポイント差)、「将来的な資産価値」(今の住まい 25.4% : 次の住まい 36.4%、11.0 ポイント差)、「エネルギー備蓄などの防災性」(今の住まい 14.6% : 次の住まい 24.4%、9.8 ポイント差)、「耐震性」(今の住まい 33.6% : 次の住まい 43.0%、9.4 ポイント差)、「断熱性」(今の住まい 22.8% : 次の住まい 32.0%、9.2 ポイント差)が上位となっています [図 7]。

パワーカップルはこれからの住まいづくりを考えるにあたって、家の広さや間取りや立地などの条件に加え、省エネや防災性、将来の資産価値なども重視するようになっているようです。

【図 7】パワーカップルがこれからの住まいを選ぶ際により重視することトップ 10 (今の住まいとの差分順) (Q9)

(28 項目中、差分差上位 10 項目を表示)

